

平成27年7月2日（木） 神石高原町立豊松小学校公開授業研究会を行いました。

### 【研究主題】

算数科・理科における活用力の育成  
～共感的人間関係を基盤とし、思考の質を高める取組を通して～

## 公開授業より

### 研究内容

- ・思考過程の分かるノート指導（記述式の問題の指導）
- ・練り合いを深めるための工夫（練り合いの学びが振り返りに書ける指導）



### 1年 算数「ひきざん（1）」

「丸いクッキー6個と四角いクッキー4個のちがいはいくつですか。」という問題で、ちがいの求め方を説明しました。

「何を使って考えたか」「どこがちがいか」「どんな式にするか」を言葉で説明する【方法の説明】の学習でした。

### 3年 算数「買えますか？買えませんか？」

「300円で98円ののりと198円のノートを1つずつ買うことができますか。」という問題で、買えるか買えないかとそのわけを説明しました。

ある事象や結果について、そうなるわけを説明する【理由の記述】の学習でした。



### 6年 算数「比とその利用」

「みずきさんは、長さ25cmのリボンを妹と分けるのに、長さの比を3:2にするには、それぞれ何cmずつに分けたらよいですか。」という問題で、比と全体の量からそれぞれ量を求める方法を説明しました。

ある事象や結果について、そうなるわけを説明する「まず」「次に」「だから」を使い、順を追って説明する【方法の記述】の学習でした。



## 開会行事より



神石高原町立豊松小学校長 小田原 まゆみ



神石高原町教育委員会 教育長 馬屋原 建治 様

## 実践発表より



神石高原町立豊松小学校 指導教諭 松葉 伸恵

活用力とは、基礎的・基本的な知識・技能を用いて、思考する力（課題を解決する力）。

活用力の育成には、必要な情報を選択し、筋道を立てて考え、その考えを記述させることが必要。

### 記述の仕方

- ・ 事実…グラフや表などの資料から具体的な数値を挙げて説明する。
- ・ 方法…「まず」「次に」「だから」などやり方や考え方を順を追って説明する。
- ・ 理由…ある事象や結果についてそうなるわけを説明する。

（結論先行で、語尾は「～だから。」となる。）

## 研究協議より



低学年部会



中学年部会



高学年部会

## 指導講話より



「算数科における活用力の育成」

廿日市市立平良小学校 指導教諭 松本 淳美 先生

## 閉会行事より



神石高原町立豊松小学校 教頭 天野博文